



楽しみながら学ぶ  株式投資帝王学

マレーシア機の撃墜は米国の仕業だ！？

7月末オバマ大統領が、ロシアに対して漸く追加制裁を発表しました。

ソ連の崩壊以来、ウクライナを巡り欧米とロシアで綱引きがずっと行われていました。昨年11月に突然ウクライナ政府のヤヌコビッチ大統領が、EU入りを目指す連合協定の準備作業を中止させると、大規模な反政府デモが起こり、ヤヌコビッチ政権は崩壊しウクライナは親欧州派になりました。ヤヌコビッチ大統領は「これはクーデターだ」と叫んだそうです。というのもウクライナの反政府デモを扇動していた米国が、ウクライナの野党勢力がどのような役割をするかを指導している映像がユーチューブに流れたそうです。反政府組織による政変に、親ロシア派は軍事力で強引にクリミアを占拠しましたが、ロシアは通貨と株価を大暴落させられ、プーチン大統領は、欧米諸国の表面に出ない攻撃の怖さを身にしみているはずで、オバマ大統領はロシアの横暴に対して「代償を払わせる」と制裁を示唆しましたが、EU諸国はロシアからエネルギー供給を受けているので制裁には及び腰だったのです。オバマ大統領がいくらEUの尻を叩いても同調しないので、最後の手段としてウクライナ上空でマレーシア機を撃墜して、親ロシア派の仕業と見せかけて、EU諸国にロシア制裁に同意させました。

ロシアは欧米が金融で攻撃してくる怖さを知っているのに、もっと怒らせるような行為をしようか？プーチン大統領は以前、米国が世界の首脳の盗聴をしていると暴露したスノーデンの亡命を受け入れていて、アメリカの情報網の怖さを知りすぎているのもロシアです。今までの一連のウクライナ情勢を見るとマレーシア機

の撃墜で有利になるのは米国です。クリミア占拠で経済的苦境に立っているプーチン大統領がそれ以上の報復される撃墜をするとは考えられません。米国の仕業です。

欧米の今回の制裁を見ると①ロシアの欧米での資金調達が困難になる。②欧米から最新の開発技術輸出の禁止。(プーチンが力を入れている北極海大陸棚の共同開発するシェールオイル掘削ができない)などロシアの金融、石油、軍需など基幹産業への影響が厳しくロシア経済が苦しくなります。米国はシェールガスに競合するロシアを徹底的に叩いているのです。マレーシア機が狙われたのも、マレーシアが天然ガスの世界第2の輸出国だからです。搭乗していて犠牲者を沢山出したオランダも天然ガスの世界第9位の輸出国です(ダッチシェールが有名)。今回のウクライナ上空でのマレーシア機撃墜に絡んでいる国々は皆、米国のシェールガスの競合する国です。

米国の仕掛けた情報戦争です。騙されてはいけません。原子力発電は稼働しづらい状況であり、世界の天然ガス輸出国も米国に遠慮せざる得ません。日本の異次元緩和の効果はもの凄いインフレになるのです。通貨より物を持つのが有利になるインフレにして日本からエネルギーで、ごっそりと稼ごうとしているアメリカの思惑は、目に見えています。国も我々もインフレにそなえた投資を考えましょう。



平成26年8月5日
(株式講演家 三木文佑)

株式講演会の出張講演致します。
少人数でも喜んで。
090-5154-0515

いよいよ2014.10.18(土)開講

小人数システムですから、お早目にお申込み下さい。